

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	青木恭子
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	長谷川芳子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度名古屋アイリスRCのテーマ

10年間の礎を力に
情熱の持続と感謝の心で
奉仕と生業に尽力しよう

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第462回 例会

ガバナー公式訪問 3RC 合同例会

2023年10月20日 11:30～12:10

名古屋東急ホテル 3階 葵の間

- 司 会 杉浦敏夫 地区幹事
- 斉 唱 奉仕の理想
- ゲ ス ト ガバナー 酒井法丈 様
地区幹事 杉浦敏夫 様
地区スタッフ 河合拓真 様

会長挨拶（名古屋葵 RC）

名古屋葵 RC 阿部恵彦 会長



只今、ご紹介を頂きました、今年度、名古屋葵ロータリークラブ会長の阿部恵彦と申します。

本日は宜しくお願い致します。本日はガバナー公式訪問、3クラブ合同例会開催にあたり名古屋北ロータリークラブ、会長・幹事様はじめスタッフの皆様、準備をしていただき心より感謝申し上げます。クラブを代表し御礼申し上げます。そして酒井ガバナーはじめ、地区幹事の杉浦様、大変お忙しい中お越しいただきありがとうございます。また、例会前に開催されました会長・幹事懇親会では多くのご指導、アドバイスを賜り心より感謝申し上げます。

名古屋葵ロータリークラブは来年、創立20周年を迎えようとしています。国際ロータリー、地区方針を踏襲しロータリー活動の礎となるクラブ強化のために会員増強を第一の目標と定め、継続する大切さを再認識し、20周年へ向け次世代の奉仕活動へチャレンジする一年としました。そこで活動方針と共に年間テーマを「継続と革新、次世代へつなげよう」、サブテーマを「～全員参加で取り組もう!!～」としました。

葵ロータリーにとり最も重要な活動として、クラブ強化を図るための第一歩として会員増強があります。会員増強のための専門的な組織を設け、イベントを立上、募集活動を活発に実施しています。結果、8月には1名、予定者として2名の入会が見込める目途が付きまして。次にクラブを活性化させるために、軸となる社会奉仕活動の実施と継続。そして新たな奉仕活動をする事で魅

力ある機会を増やし、会員の満足度を高める運営を心掛けています。

まだまだ多くの目標、テーマはありますが、いずれにしても職業・社会奉仕活動をするためには第一に人と次に資金です。20周年に向け、あらたな起点とし、より良いクラブになれる様、そしてロータリアンとして個々の会員が誇りを持てるクラブに近づけていきたいと願っています。

以上、簡単ですが挨拶といたします。今後も引き続きガバナー様はじめ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本日はよろしくお願い致します。

会長挨拶（名古屋アイリス RC）

名古屋アイリス RC 青木恭子様 会長



こんにちは。名古屋アイリスロータリークラブ会長の青木恭子と申します。本日、2760地区酒井法丈ガバナーの公式訪問をお迎えするにあたり、ご挨拶申し上げます。

酒井ガバナー、本日はようこそご訪問頂きましてありがとうございます。私もアイリスロータリークラブについて1つ2つガバナーにお聴き頂ければと思います。アイリスは先年度、島村会長年度におきまして北ロータリークラブ様の子供ロータリーとして誕生後、10周年を迎えることができ、記念行事を執り行う運びとなりました。紆余曲折、試行錯誤を重ねながら、北ロータリー様のご指導をいただき、会員相互のレスペクトの中、交流豊かな独特の個性たるものを築き上げて参りました。水曜日の例会で行事をこなしながら、親睦を深めております。

今年度はテーマを次のように掲げました。皆で築いて参りました10年を大切に思い「10年間の礎を力に情熱の持続と感謝の心で奉仕と生業に尽力しよう」でございます。ロータリアンとしての自覚を持って進めますよう、階段を一步一步登って参りたいと、会員一同感じていると思います。

国際ロータリー2760地区の酒井ガバナーはじめ、地区の皆様、そして親ロータリーの北ロータリークラブの皆様、どうか、これからの名古屋アイリスロータリークラブを見守って下さいます様よろしくお願い申し上げます。以上、お願いを込めましてご挨拶とさせていただきます。

会長挨拶（名古屋北 RC）

名古屋北 RC 高柳充広 会長



皆さんこんにちは。本日は酒井ガバナー、杉浦地区幹事、ようこそお越しいただきました。名古屋葵 RC、名古屋アイリス RC とともにお迎えいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて今年度、我々名古屋北 RC のクラブテーマは「ロータリアンズ・オブリージュ」です。これは「ノブレス・オブリージュ」という、有名な言葉の主旨をロータリアンに置き換えたものです。ノブレス・オブリージュとは、社会的地位を持つ者にはそれに応じて果たすべき責任と義務がある、という欧米社会における基本的な道徳観を表すフランス語で、新渡戸稲造が欧米社会に武士道、つまり日本の道徳観を紹介する際に用いた言葉でもあります。我々ロータリアンも地域から期待されている責任と義務を果たして行きたい。そうすることで、酒井ガバナーの地区方針にあるように、プライドをもって RC のブランドを育み、RI テーマである世界に希望を生み出す一助になればと考えます。またサブテーマとして「～全員参加で奉仕とクラブライフを楽しもう！～」を掲げました。会員それぞれが様々な個性やスキルを活かして参加することで、クラブにおけるインクルージョンを実現したい。また逆に、会員の誰もが、その個性やスキルを活かせる機会や場を提供できるような例会運営、奉仕や親睦の企画をしていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

ガバナー卓話

国際ロータリー第 2760 地区 2023-24 年度 酒井法丈ガバナー



RI 会長 ゴードン R. マッキナリー氏メッセージ

深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人のために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。

だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー

一会員を奮立たせてくれることでしよう。

素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地のよい、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう。

私見ですが「言い換えれば、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができ、入会候補者もロータリーに関心をもってくれる。」クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。だれもが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第なのです。

RI の重点事項

①ポリオプラスプログラム、②メンタルヘルス、③女兒のエンパワメント

ビジョン声明から DEI について

自身の中での「ロータリー像」について問いかけます。

- ①なぜロータリークラブに入会しましたか？
- ②ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？
- ③ロータリークラブはどのようなことをしているのですか？
- ④なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？
- ⑤あなたのクラブを代表する活動は何ですか？

以上五つの事を自身に問いかけてビジョン声明を考えてください。

ビジョン声明

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指します」

ビジョン達成のための行動計画

- I より大きなインパクトをもたらす
- II 参加者の基盤を広げる
- III 参加者の積極的なかわりを促す
- IV 対応力を高める

この I から IV までの行動計画は皆さんに問いかけた「ロータリー像」の中にヒントがあります。I は⑤に、II は①②に、III は③に、IV は④につながります。I のインパクトをもたらすために、新たな方法を探りましょう。II の基盤を広げるには、一緒に活動できるようにつながりと機会をつくり出しましょう。III の積極的なかわりを促すためには、ニーズを知りそのニーズに応える活動を実行しましょう。IV の対応力を高めるには、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)

多様性は、ロータリー創立からの価値観として存在していたが、表層的な多様性ではなく、深層に思い致した対応が重要。公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうかが鍵となる。インクルージョンは、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれる

プライド、ブランドとは

親睦と奉仕は、ロータリーの両輪の如く言われますが、実は一つの大きな「輪」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを培えることができる、これがロータリーの魅力ではないでしょうか。よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

お願い

- ①ロータリー財団への寄付
- ②地区大会への参加
- ③RFF(ロータリー・フード・フェスティバル)への積極的な参加(チケット・企業協賛)
- ④世界大会でのガバナーナイトへの参加

会長幹事懇談会



例会風景

